

2013年(平成25年) 3月13日 水曜日



藤澤社長

有力コイルセンタ
ー、藤澤鋼板の子会社
で、シャーリング加工
販売を手掛けるベスト
スチール(本社)千葉

トール スチール ベスト

加工量1.2万トン超目標

今期 需要回復を追い風

県浦安市鉄鋼通り、藤澤鐵雄社長)は2014年1月期に年間加工量1万2000トンを目標とする。田高是正の動きが進んでいることを受け、主力の商用車や建設機械向けの回復を見込み、前期比20%増を狙う。

13年1月期は建機向けの不調やプロパー販売の減少が響き、年間加工量は1万トとなった。前半は昨年3月に月間1400トを記録するなど好調だったが、夏ごろから商用車向けのエコカー補助金終了や建設機械の中国向けの失速といった影響で、加工量が落ち込んだ。受注構成は賃加

工比率が高まり、利幅が増加する見通し。す

が縮小した。今期は月間1000ト以上を目標に、前期実績からの上積みを図る。今年には震災復興需要や公共事業の増加で、建設機械の生産が復調するとみられ、日本建設機械工業会によると、13年度は前年度比7%増と、2年ぶりに増加する見通し。すでに2月は1000トをクリアしている。前期はシャーリング機の集積装置を改良しており、生産性を高めるとともに、需要回復を追い風にプロパー販売拡大に取り組む。